

疾病論Ⅲ	2年・前期	1単位	教授 安部 まゆみ
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32210362

1. 授業のねらい・概要

内分泌・代謝，アレルギー・膠原病・感染症，脳・神経の疾患について学習する。

2. 到達目標

各疾病の病態生理，症状，検査，治療を理解し，適切・的確な看護に役立てる。

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進めるが，適宜，視聴覚教材やプリントを利用する。

4. 授業計画

1. 内分泌 1 視床下部一下垂体疾患	10. 脳・神経 1 脳血管障害①
2. 内分泌 2 甲状腺疾患	11. 脳・神経 2 脳血管障害②，頭部外傷
3. 内分泌 3 副甲状腺・副腎疾患	12. 脳・神経 3 脳腫瘍，感染症
4. 代謝 1 糖尿病	13. 脳・神経 4 脊髄疾患，末梢神経障害
5. 代謝 2 脂質・尿酸代謝異常	14. 脳・神経 5 筋・神経筋接合部疾患， 脱髄・変性疾患①
6. 感染症 1 概論	15. 脳・神経 6 脱髄・変性疾患②，てん かん
7. 感染症 2 各種感染症	
8. アレルギー	
9. 膠原病	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，単元毎の小テスト30%

4，6，8，9回目の講義冒頭に，また15回目の講義終了前に，終了した単元の小テストを行う。

6. テキスト・参考文献

テキスト：系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学6 内分泌・代謝 第15版 医学書院

系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学7 脳・神経 第15版 医学書院

系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学11 アレルギー・膠原病・感染症 第15版 医学書院

杉本由香監修 2022年版看護師国試PASS NOTE 学研メディカル秀潤社

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業前に必ず教科書の予定範囲を一読し，授業後はその日のうちに復習をし，併せて1時間以上は自己学習すること。

8. 受講上の留意事項

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎む事。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の結果と模範解答は後日掲示する。質問・疑義は授業で，あるいは適宜個別に説明・対応する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合は進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施されます。

医療機関における医師としての実務経験と医学系大学院における教員としての教育経験を活かして，講義を行います。